

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

ソルスタジオ

調査期間：令和6年1月1日～令和6年1月31日 回答職員数： 8名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		1階と2階に分かれて過ごすことが出来る。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		最低人数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	玄関に段差あり。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		常に清潔で安全な空間を提供できるよう心掛けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		毎日ミーティングをしており、パート職員にも共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		評価表の他、LINE や電話で連絡を取り、要望に沿った業務改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8		相談支援員の意見を取り入れている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		毎月2回の特性別研修や法令等の研修を受けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		日頃の職員会議を有効に活用し、客観的な評価のもと支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		担当だけでなく、全職員からも意見を取り入れ決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		子どもの興味・関心にあった活動になるよう職員間で話し合っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		支援計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		毎日ミーティングを行いパート職員にも共有している。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		業務が終わった職員が互いにその日の出来事を共有しあう。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		個人記録の作成を毎日行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		定められている半年以内に必ずモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		最もふさわしいものが参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		現在該当児なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		現在該当児なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		在籍する園や関係機関との連携をとり、情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	専門機関との連携は今後も継続していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1	現在は一緒に活動する機会がない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	8		定期的に、又は必要に応じて保護者との面談や日々の連絡を通じ、共通理解を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	1	定期的に、又は必要に応じて保護者との面談や日々の連絡を通じ、レスパイトケアを実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	契約時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		電話対応や訪問をして相談に応じ、助言・支援している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	保護者会は実施していない。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		苦情があった場合には、担当職員が管理者に報告し、保護者と面談するなど適切な対応をとっている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		活動予定表を毎月発行し、保護者に配付、LINE や Instagram で活動の様子を伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		書類は鍵付き書庫で保管し、破棄する場合はシュレッダーにかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		場合によっては視覚化して意思の疎通を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	地域住民が参加できるイベントは実施していない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		者類にして周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		年4回の避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		保護者より詳しく説明を受け、全職員に周知し 対応に気を付けている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		現在該当児なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		毎月、虐待防止チェックリストを配付している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		身体拘束について子どもと保護者に説明し、了承を得たうえで契約時に署名していただいている。その旨を運営委規定に記載している。